

安全安心まちづくり

犯罪のない安全で住みよいまち「ふくおか」を目指して



安全安心まちづくり 犯罪のない安全で住みよいまち「ふくおか」を目指して

【発行】福岡市市民局生活安全課 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1

【電話】092-711-4054 【FAX】092-711-4059

【E-mail】seikatsuanzen.CAB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市市民局生活安全課

はじめに

福岡市における刑法犯の認知件数は、平成14年のピーク以降、年々減少しつつありますが、人口千人あたりの件数では、政令指定都市のうちワースト上位で推移しており、性犯罪、自転車盗、オートバイ盗など市民生活に身近な犯罪が多発している状況にあります。

福岡市では、犯罪のない安全で住みよいまちづくりの実現を目指し、関係機関・団体等と連携しながら、地域防犯活動の促進をはじめとした防犯施策を推進していますが、市民や地域及び事業者の皆さまが「地域の安全は地域で守る」という防犯意識のもとに、地域防犯活動に主体的に取り組み、地域社会の絆の強化を図ることも重要です。

このような中、地域の皆さまにおかれましては、地域の実情や特性を踏まえパトロール活動や登下校時の見守り活動など様々な取り組みを行っておられます。この冊子ではこうした地域における防犯活動の内容等について紹介しています。

既に防犯活動を行われている方々だけでなく、これから新たに防犯活動に取り組もうとされている方々にこの冊子をご活用いただき、活動の参考にしていただけると幸いです。

目次

- 地域防犯活動の重要性 ～人の目が犯罪を抑止する～ 1
- 具体的な防犯活動 2
- 活動を継続していくためには 3
- 新たなメンバーの募集 4
- 防犯活動を行う際の注意事項 5
- はじめませんか?青色防犯パトロール(青パト) 6
- 福岡市の地域防犯パトロールカー支援事業 7
- 防犯ボランティア団体の紹介
 - ・ 青葉校区子ども110番連絡協議会 8
 - ・ 東光校区防犯組合 9
 - ・ 笹丘校区危機管理部 10
 - ・ 塩原校区安全・安心推進委員会 11
 - ・ 南片江校区防犯協会 12
 - ・ 西南学院大学 防犯ボランティア隊 Green Angel 13
 - ・ 下山門安全安心少年隊(ジュニアパトロール隊) 14
- 福岡市防犯強化月間/出前講座/ふっけい安心メール 15
- 住宅における防犯対策 16

地域防犯活動の重要性 ～人の目が犯罪を抑止する～

防犯ボランティアの重要性

ほとんどの犯罪は「人が見ていないとき」「人気のないところ」で行われます。窃盗や性犯罪など、身近な犯罪を未然に防ぐには、そこに住む皆さんが「地域の安全は地域で守る」という意識を持ち、地域が一体となって活動することが重要です。

このような意識のもと、防犯ボランティア団体がパトロールなどの防犯活動を行うことで、このまちは「人に見られている」ということをアピールすることができます。

誰かに見られているかも、という意識は犯罪を行おうとする意欲を削ぎ、「犯罪者を近づけない」ということに大きく貢献するのです。



「割れ窓理論」をご存知ですか?

1枚の割られた窓ガラスをそのまま放置しておくと、外部から「その建物は管理されていない」と認識され、さらに他の窓ガラスも割られてしまい、やがてはまち全体が崩壊してしまうという理論です。

つまり、小さい秩序違反や軽い犯罪の発生を放置しておくことは「この地域には誰も関心を払っていない」というサインになり、犯罪がエスカレートする心理が働きやすくなり、より大きな犯罪が多発することになるというわけです。

「割れた窓」を放置しないためにも、地域の方々が「我々のまち」であるという強い意識を持ち、落書きなどがあれば放置しない、ということが犯罪の防止につながります。



具体的な防犯活動

一口に防犯活動といっても、その活動内容は様々です。ここでは、防犯ボランティア団体が実際に行っている活動内容を具体的に紹介します。

防犯パトロール



下校時や夜間などにグループでまちを見回ります。地域の方々へのあいさつや声かけを行うことも大切です。

青色防犯パトロール(青パト)



青色回転灯を装備した自動車による自主防犯パトロール。徒歩と比べより広い範囲を見回ることができます。

防犯教室



市や警察などの協力も得ながら身近な犯罪に対する防犯対策や自主防犯活動のポイントなどについて学びます。

子どもの見守り



小学校の登下校時など、交差点や街頭に立ち、交通安全などの指導をします。

危険エリア点検



人気がない道や暗がりなど、危険な箇所などについて話し合い、安全安心マップなどを作成します。

環境美化



きれいなまちは、犯罪のおきにくいまち。公園の清掃作業などは地域交流のきっかけにもなり、防犯にも効果的です。

活動を継続していくためには

防犯活動は定期的に、継続して行っていくことが大切です。気軽に、楽しく、ずっと活動を継続できるように心がけましょう。

無理をしない

メンバーが無理せず参加できるような活動計画を立てましょう。また、メンバーの一人ひとりも体調や生活リズムに応じて活動に参加しましょう。

活動の目的について、意思を統一する。

地域ごとに、重点となる活動内容は異なります。その地域ではどのような活動が望まれ、どこまで自分たちにできるのか、地域の方々との間で意思を統一します。

活動拠点

公民館や集会所など、定期的に来られる拠点を設置することで意思疎通や交流がしやすくなり、団体の存在をアピールすることにもつながります。

具体的な計画

季節や時期によってその地域の防犯活動の重点も変わります。年間、月間の具体的な計画を設定することで、参加者が活動予定を立てやすくなります。

規約

組織の運営や活動に関する基本的な事柄についてあらかじめルール(規約)を決めておけば、メンバー内で活動の内容や目的など意思統一が図られ、役員や参加者の役割が明確になります。

防犯関係機関・団体との連携

警察、行政、他団体などとの連携を図ることでより効果的な活動が行えます。参加者の意識や知識の向上も期待できます。

結果の記録と報告

活動終了後に結果の記録や報告を行います。記録は次回活動の参考になり、継続するための励みにもなります。



新たなメンバーの募集

新たなメンバーを募ることは、団体活動の継続、活性化には欠かせないことです。活動のPRも兼ねてメンバーの募集を行います。

地域活動でのPR

地域のお祭りや運動会など、多くの方々が参加される場で、活動のPRを行います。

参加しやすい雰囲気

活動内容を知って、「これなら私にもできる」と思ってもらうことが大事。そのためには、無理をせず、様々な生活環境の方が気軽に参加できるような雰囲気作りが大事です。

ポスター、チラシ

ポスターやチラシを作成し、町内会やマンションなどの掲示板へ掲示します。できるだけ明るく、楽しい雰囲気のものを作成しましょう。

口コミ

仲のいい隣人や、地域活動への参加者に対し参加を呼びかけます。身近な人を被害から守るため、と思えば特に興味を持ってくれるはずです。



お祭りでの活動のPR

町内会掲示板



掲示板へポスターの掲示

防犯活動を行う際の注意事項

パトロールは必ず2人以上で

パトロール中に、事件や事故に遭遇することも十分に考えられます。緊急事態に備えるため、パトロールの際は必ず2人以上のグループで行いましょう。可能であれば1グループ5人程度いた方がより安全でしょう。



交通ルールを守り、模範となる

青パトなどの車両によるパトロールはもちろん、徒歩でのパトロールの際も、子どもたちの模範となるように交通ルールを守りましょう。



自らの安全を確保する

防犯活動の目的は「犯罪の抑止」であり、犯罪者を検挙するのは警察の仕事です。身の危険を感じる場合などは無理に声かけをせず、その場を離れてすぐに110番通報しましょう。



パトロール時に携行したいもの

- ジャンパー (団体名入り、蛍光色など明るく目立つ色の物)
- 帽子、腕章、たすき (防犯活動中であることがわかるもの)
- 携帯電話、トランシーバー (非常時の連絡)
- 懐中電灯、防犯合図灯 (夜間活動で使用)
- メモ帳や筆記用具 (パトロール中に気づいたことや、不審車両のナンバーを記録)



ジャンパー



ベスト



帽子



腕章



防犯合図灯

はじめませんか？

青色防犯パトロール(青パト)

一般の自動車に回転灯を装備することは法令で禁止されていますが、一定の要件の下、警察から自主防犯パトロールを適正に行うことができるとの証明を受けた団体は、自動車への青色回転灯の装備が認められます。



青色防犯パトロールとは

青色回転灯を装備した自動車による自主防犯パトロールのことをいいます。
また、その自動車のことを一般に「青パト」と呼んでいます。

青色防犯パトロールの効果

- ① 徒歩よりも機動力があるため、活動時間あたりの活動範囲が広い。
- ② 人目につきやすく、少人数でも防犯効果の高い活動を行うことができる。

青色防犯パトロールの方法

- ① 青色回転灯は、自動車の屋根に1個又は1体のみ装備することとし、マグネット等による着脱式も適応する
- ② 自主防犯パトロールの実施時以外では、回転灯を点灯させることはできない
- ③ 自動車の車体に団体の名称及び自主パトロール中であることがわかるように表示しなければならない
- ④ 使用する回転灯は、光源が点滅するものではなく、回転式の構造でなければならない
- ⑤ 回転灯を点灯させて運行する際は、標章を自動車の後方から見えるように掲示しなければならない
- ⑥ 青色防犯パトロール実施中は、当該自動車に乗車する方の内、一人以上はパトロール実施者証の所持者でなければならない
- ⑦ 警察本部長に申請したパトロール活動地域以外では、青色回転灯を点灯した運行はできない
- ⑧ パトロール実施者証の交付を受けた方は、概ね3年が経過するまでの間に青色防犯パトロール講習を受講しなければならない

[問い合わせ先]

申請にあたっては一定の要件があります。
詳細は、最寄りの警察署または

福岡県警察本部生活安全総務課 ☎092-641-4141まで

福岡市の地域防犯パトロールカー支援事業

福岡市では、地域における防犯パトロールを支援するため、次の事業を行っています。

●パトカー走って安全っ隊

- ◎事業内容
福岡市が所有している軽自動車で、使用期間が満了し売却予定のものを地域からの申し出により、車検整備後、無償で譲渡し、地域の防犯活動等に役立てていただくものです。
- ◎応募団体の単位
校区自治協議会(又は自治連合会)
- ◎譲渡要件
〔使用用途〕地域での防犯、青少年健全育成、交通安全などの活動
〔塗装〕譲受団体において、パトロールカーと同様の白黒塗装をする
〔経費〕保険料、ガソリン代等維持管理に関する一切の経費は、譲受団体が負担
〔台数〕1校区1台とし、次回申し込みまで原則4年間は申し込み不可

●地域防犯パトロールカー支援事業

- ◎事業内容
地域で防犯活動に使用している「地域防犯パトロールカー」に対して、車検代関連費用を補助するものです。
- ◎対象車両
白黒塗装かつ青色回転灯を装備した地域防犯パトロールカー(※)
- ◎対象団体
自治協議会等
- ◎補助費用
車検代関連費用として1台につき10万円を上限とする。

●地域防犯パトロールカーガソリン代助成制度

- ◎事業内容
青色回転灯を装備した地域防犯パトロールカーに対して、ガソリン代金を助成するものです。
- ◎対象車両
青色回転灯を装備した地域防犯パトロールカー(※)
- ◎対象団体
自治協議会又は自治協議会が当該校区内で活動していると認める町内会・自治会・NPO・ボランティア団体
- ◎助成期間
新規運用開始月から2年間
- ◎助成費用
年間3万円を上限とする。

(※) 青色回転灯を装備した車両とは、警察から青色防犯パトロールカー実施団体であることの証明を受けた団体が使用する車両

青葉校区こども110番連絡協議会

青葉校区防犯組合顧問の救仁郷さんにお話を伺いました。

「街に広がる子ども110番の家」

青葉校区では、平成16年に「青葉校区こども110番連絡協議会」を組織し、子ども110番の家の設置推進を図っています。子ども達の安全のためには、地域が協力して子ども達を見守ることが重要です。そのため、小・中学校のPTAだけでなく防犯組合などの様々な団体が連携してこの活動に取り組んでいます。

活動内容としては、年に5～6回、校区内の各世帯を訪問し、110番の家への加入依頼などを行っています。訪問時には、丁寧に趣旨を説明することに心がけています。

住宅にプレート貼ることは子ども達の安全だけでなく、悪質な訪問販売を防止したり、泥棒に入られにくくなるなど、プレート貼る住宅自体の犯罪抑止にも効果があると考えています。

また、加入世帯を増やすだけでなく、子ども達と110番の家の住人が顔見知りになることも大事です。子ども達と住人の交流を図ることで、いざというときに駆け込みやすい関係を築いておくことが大切です。

このような活動の結果、現在では、校区全世帯の1割以上にあたる約550軒の世帯に加入いただいています。他の地域に比べると非常に高い加入率だと思いますが、自治会、町内会にもご協力いただき、今後はさらに1,000軒を目指して参加を募っていきたく考えています。



プレートを掲げている住宅



「子ども110番の家」の加入世帯を記載したマップ

「子ども110番の家」とは、

子どもが「誘拐や暴力、痴漢」など何らかの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めてきたとき、その子どもを保護するとともに、警察、学校、家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子ども達の安全を守っていくボランティア活動です。

東光校区防犯組合

東光校区防犯組合会長の有吉さんと女性パトロール隊隊長の橋村さんにお話を伺いました。

「女性の積極参加が大きな力に」

校区内で痴漢などの発生が続いていたことなどから、子どもたちの安全のための新たな取組みとして、平成27年6月に「女性パトロール隊」を立ち上げました。現在、各町内の民生委員や女性連絡会のメンバーなど31人で構成しています。

女性パトロール隊では、小学生の下校時に合わせて、パトロールを行っています。揃いのユニフォームで活動をアピールすることも犯罪抑止につながるものと考えています。

このパトロールに合わせて、防犯組合による青パト巡回も行い、子ども達の安全確保に努めています。

このように、東光校区の特徴は、女性が積極的に活動に参加していることです。女性ならではの企画や発想で、力を発揮してもらっています。

活動を継続していくポイントは活動の目的をメンバー内で共有し、メンバーそれぞれが目的意識を持って活動すること。パトロールに参加しやすい環境を整えるなどメンバーに対する気配りも大切です。

また、楽しみながら活動することが大事です。活動を通じて子どもたちの成長を感じたり、最初はよそよそしかった子が気軽に話しかけてくれるようになるなど、子どもたちとの触れ合いは活動を続けていこうという気持ちにさせてくれます。

決して無理をせず、みんなが楽しく参加できれば、活動も長く続けられると考えています。



校門前での声かけ



通学路での見守り



パトロールに出発する青パト

笹丘校区危機管理部

本部・統轄部長の副田さんにお話を伺いました。

合言葉は「向こう八軒両々隣り」

防犯・防災など、地域のあらゆる危機に対処できる組織として、平成17年に設立。「向こう八軒両々隣り」を独自の合言葉として、挨拶や声掛けを通じて地域のつながりを深めることを念頭に活動しています。

主な取組みとしては、高齢者や子ども、保護者を対象とした安全安心教室や、青パトによる巡回、年に1回の防犯・防災・交通安全に関する総合訓練などで、総合訓練には約400人もの方々が毎年参加されています。また、子どもの行方不明などの緊急時には関係者約300人にメールが配信され、即座に行動できる方々が対応する体制をとっています。

防犯活動は、無理をせずにできることが大切です。「パトロール中」である旨の黄色い札をリードに付けて犬の散歩を行う「わんわんパトロール」には、現在約200名が登録。一般の方が気軽に参加できる活動のひとつです。

また、「挨拶」・「声かけ」・「関わり」が重要です。多くの方々が防犯活動に限らず地域活動に参加し、地域が顔見知りになることが、安全安心なまちだけでなく社会福祉の充実にもつながるものと考えています。

活動を行う上でうれしいのは活動メンバーが達成感を感じてくれること。また、参加者が楽しんでくれている様子などを見るととてもやりがいを感じます。これからもたくさんの方々が参加できるような楽しい企画を考え、実施していきたいと思っています。



わんわんパトロールの募集イベント



安全安心教室



総合訓練

塩原校区安全・安心推進委員会

会長の帆足さんにお話を伺いました。

「人と人のつながりが重要」

平成17年頃、近隣の地域で事件が発生したことをきっかけに、青パトによるパトロールを開始。平成27年度より防犯組合と交通安全推進委員会が統合されて現在の形になりました。地域の有志25名、PTA20名がメンバーとして参加しています。

青パトでのパトロールは小学校の登校日に一日2回行っています。パトロール時には子ども達への声かけを行うとともに校歌を放送しており、地域のお年寄りからは「校歌が聞こえてくると安心する」など親近感を持っていただいています。また、月に1回は夜間のパトロールを実施しています。

平成27年には、初めての取組みとしてニセ電話詐欺に関する川柳を地域の方々から募集しました。約80作品の応募があり、地域の方々の防犯意識向上に効果的だったと思います。今後もテーマを変えるなどして継続していきたいと考えています。

活動を継続していくためには、人と人とのつながりが重要です。活動を行うに当たっては、地域の方々に活動内容を周知することを心がけています。まずは活動内容を知って頂き、新たに取組みに参加していただく人達とつながりを持つことが大切です。

活動費やメンバーの高齢化などの課題もありますが、地域の方から「安心できる」などの声をかけていただくとやりがいを感じます。今後もこのようにやりがいを感じながら取組みを進めていきたいと思っています。



青パトでのパトロール



夏祭りでのPR活動



川柳の表彰式

南片江校区防犯協会

会長の武田さんにお話を伺いました。

「みんながリーダー、楽しみながら防犯活動」

南片江校区防犯協会は各町内から1名ずつと、参加希望の有志の合計20名程度で構成しています。

主な活動は、毎月1回の夜間合同パトロール、ゴミ出し日の深夜に行うイノシシ対策パトロール、青パトによる登下校時のパトロールなど。参加人数はその日によってまちまちで、参加できる人が参加するというスタイルです。参加を強制しないためにも、新しいメンバーを集めることが重要です。校区内のイベント時にチラシを配布することなどで活動をアピールしています。

特色ある取組みとしては、校区のヒーロー「ボウハンダーZ」。平成24年度に、防犯パレードを実施した際、考案したキャラクターです。これまでに校区のイベントや防犯キャンペーン、登下校指導など様々な場面で活躍しています。子どもたちからの人気も高く、防犯について関心を高めてもらうきっかけになっていると思います。

活動を長く継続するために心がけていることは、特定の人だけが中心になるのではなく、プロジェクトごとに責任者を決めるなど役割分担をきちんと行うことです。「自分がいなくては」とそれぞれにリーダー意識を持ってもらうことが大事だと思います。

また、ボウハンダーZのように、自分たちが楽しみながら取組みを行うことが大事だと思っています。これからも楽しみながら活動を続けていきたいと考えています。



南片江防犯協会のメンバー



夜間パトロール



防犯キャンペーンに参加するボウハンダーZ (左)

西南学院大学 防犯ボランティア隊 Green Angel

顧問の南側さん(学生課副課長)にお話を伺いました。

「学校と地域を見守る学生ボランティア」

平成24年11月に安全安心な大学生生活の実現を目指して、5人のメンバーで活動を開始、現在は26名が参加しています。

主な活動内容は、月に2回の大学周辺パトロール。揃いのベストを着てゴミを拾いながらのパトロールです。近くには小学校もあり、下校中の子どもたちの見守りも兼ねた活動となっています。活動を継続するために、参加できるメンバーが無理をしない範囲で活動することを心がけています。



防犯パトロール

また、子ども向けの防犯講座も実施しており、セルフディフェンスの方法や防犯ブザーの鳴らし方などを子ども達に指導しています。平成27年には、子ども達向けのオリジナルの防犯うちわを作成しました。今後、防犯講座で子ども達に配布していきたいと考えています。

学生による防犯ボランティア団体で構成される福岡県学生防犯ボランティア連盟「ACT」(アーチ オブ カレッジチーム)に加入し、近隣大学との情報交換なども行っています。

ボランティア活動ということで活動資金や活動メンバー数などの課題もありますが、このような活動を継続することで、活動に参加する学生自身の防犯意識の向上、また学内及び大学周辺の安全安心につなげていきたいと考えています。



防犯教室



下山門安全安心少年隊(ジュニアパトロール隊)

事務局の湯浅さん、野呂さんにお話を伺いました。

「子どもたちが楽しみながらモラル・マナーを向上」

小・中学校の児童・生徒が防犯活動を通じてモラル・マナーの向上を図ることを目的として平成26年7月に立ち上げました。現在は、小学1年生から中学3年生までの隊員44名で構成しています。

これまでに、パトロール活動や防犯キャンペーンなど様々な防犯活動に取り組んできました。落書き消し活動では、事前に校区内の落書き箇所を点検から実施したこともあり、きれいになった壁を見て子ども達も活動の成果を実感したと思います。

また、警察署見学では、普段子どもたちが訪れることがない場所で、本物の警察官の仕事ぶりに触れ、大変興味深い経験だったでしょう。活動するのは子ども達自身。楽しみながら行える企画づくりが大事だと考えています。

このような子どもたちの活動は、その保護者や周りの大人たちにも大きな影響を与えているはずです。地域の子もたちと大人たちがふれあうことで地域全体の防犯、モラル意識の向上につながれば、と考えています。

おとなしかった子がキャンペーン時に人前で声掛けができるようになるなど、子どもたちの成長を感じることができるのは、大変うれしいことです。子どもたちが飽きないよう、新しい企画を考えるのは大変ですが、無理をせず、負担にならないよう楽しく活動を続けていこうと思います。



防犯パトロール



防犯キャンペーン



落書き消し活動

8月

■福岡市防犯強化月間

市民の皆さんが、防犯について考え行動したり、防犯活動に参加するきっかけづくりを行います。

【活動内容】

- ・防犯スローガン入りのぼり旗による広報
- ・夏祭りなど地域行事で活用できる啓発物作成・配布 等

スローガン **防犯は 声かけ目くばり きずなから**

「鍵かけの徹底」など犯罪の被害に遭わないよう
防犯意識を持ちましょう。

「防犯パトロール」や「夏祭りでの住民への啓発活動」
などの地域防犯活動に取り組みましょう。



■出前講座

元警察官による身近な犯罪に対する防犯対策や、現在多発する二重電話詐欺に関する出前講座を実施しています。地域防犯活動活性化の一助としてぜひご活用下さい。

【お申し込み・お問い合わせ】

福岡市市民局生活安全課 TEL 092-711-4054
FAX 092-711-4059



■ふっけい安心メール (福岡県警 メール配信システム)

「ふっけい安心メール」は地域で身近に発生する事件や不審者の情報を電子メールでタイムリーにお知らせする福岡県警が実施している情報配信サービスです。配信する主な情報は子どもへの声かけやわいせつ事案をはじめ、ひったくり、空き巣など私たちの身近で発生する犯罪情報とその防犯対策です。QRコードまたはホームページアドレスにアクセスすることで登録できます。登録は無料。生活の安全安心のために、ぜひ「ふっけい安心メール」をご活用下さい。

登録はホームページより

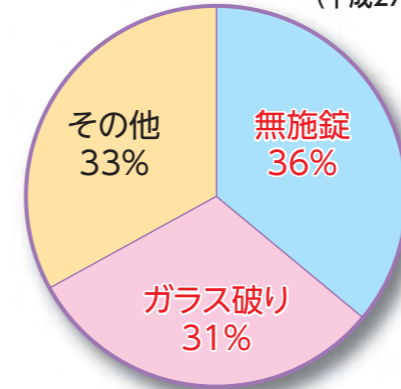
<http://www.anzen-fukuoka.jp/an2net/>



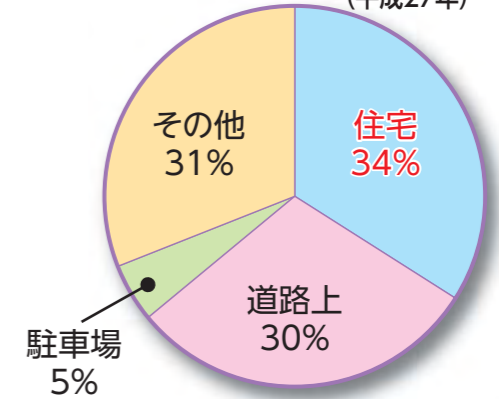
住宅における防犯対策

福岡市における住宅侵入窃盗の手口別発生状況は無施錠、ガラス破りの順で高くなっており、また性犯罪の発生場所は住宅における発生割合が最も高くなっています。鍵かけの徹底はもちろんガラス破り対策などによる侵入防止の対策が重要です。

住宅侵入窃盗の手口別発生状況 (平成27年)



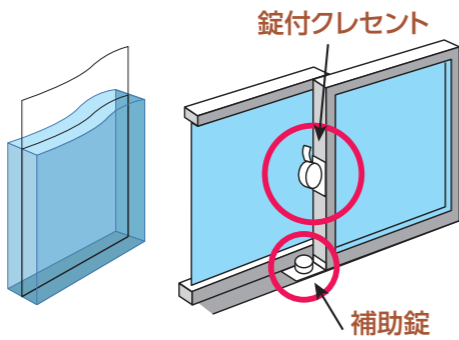
性犯罪の場所別発生状況 (平成27年)



窓ガラス等の対策

住宅侵入窃盗はガラス破りによる侵入が非常に高くなっています。防犯性の高いガラスや錠付クレセント又は補助錠を設置するなどの対策が有効です。

〔防犯性の高いガラス〕
二枚以上の板ガラスの間に丈夫なフィルムを挟んだガラス。



近所での声かけ

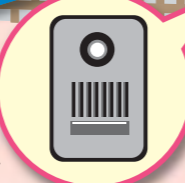
普段からご近所でのあいさつなどを通じて顔の見える関係を築きましょう。



門灯や玄関灯の点灯

泥棒は暗闇を好みます。夜間に点灯することなどで、暗闇を減らしましょう。

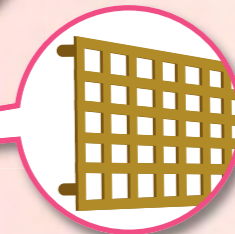
テレビ
ドアホン



センサーライト



面格子



見通しの確保

樹木などはこまめにせん定し、見通しを確保しましょう。

防犯砂利

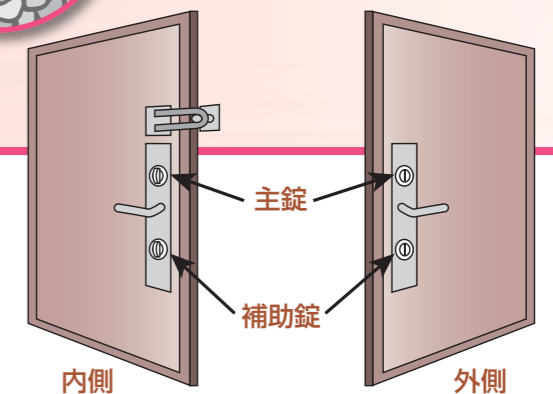


鍵かけの徹底

短時間の間でも油断せず鍵をかける習慣をつけましょう。

玄関ドア等の対策

泥棒は侵入に時間がかかる家を嫌います。主錠だけでなく補助錠を付けるなどの対策が有効です。



防犯性能の高い建物部品

住宅侵入窃盗などの侵入犯罪を防止するため、警察庁等関係省庁と建物部品関連の民間部品団体は、官民合同会議を設置し、一定の防犯性能があると評価した錠・ガラス・サッシなどの建物部品の目録を公表しています。

詳しくは全国防犯協会連合会ホームページ (<http://www.cp-bohan.jp/>) をご覧ください。

セキュリティ・ホーム認定制度・セキュリティ・アパート認定制度

住宅侵入犯罪の予防と居住者の安心感醸成を図るため、戸建住宅・賃貸集合住宅それぞれの防犯基準を策定し、基準を満たした住宅を「セキュリティ・ホーム」や「セキュリティ・アパート」として認定する制度です。

詳しくはNPO法人福岡県防犯設備士協会のホームページ (<http://www.fukuoka-bosetsukyo.jp/>) をご覧ください。